

「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案及び
「第 2 期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案について

市民政策局 政策課

1 「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案の構成

1 高松市の人口の現状

(1) 人口の推移

※「世帯数の推移」を追加

⇒ 核家族化が進行

⇒ 「地域共生社会の推進」が必要

(2) 人口の自然増減の推移

(3) 合計特殊出生率の推移

(4) 有配偶率の推移

(5) 人口の社会増減の推移

(6) 年齢階級別の人口移動の状況

(7) 年齢階級別・男女別の人口移動の状況

※「転入者の住所のメッシュ分析」を追加

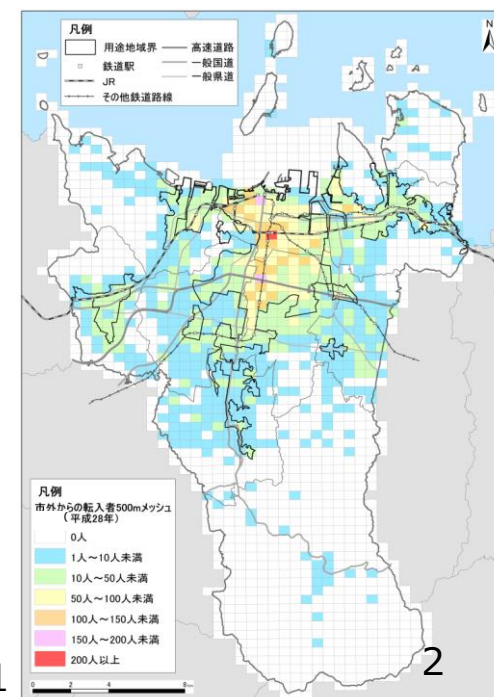
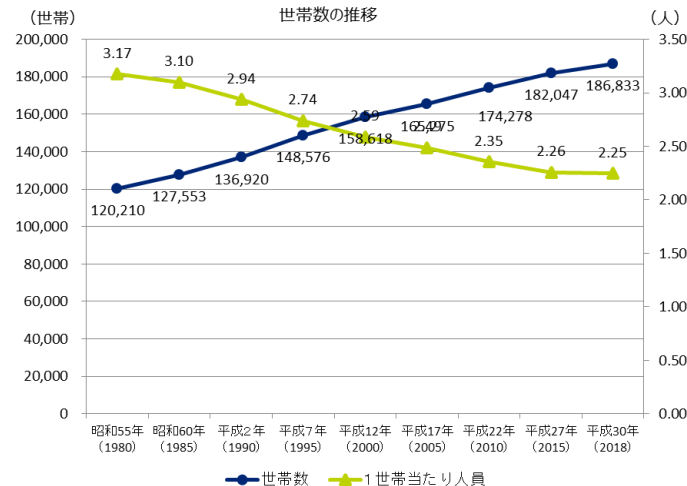
(立地適正化計画より抜粋)

⇒ ことでん琴平線の沿線を中心に、幅広い地域に転入

(8) 人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響

(9) 産業別就業者数

(10) 在留外国人の推移



1 「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案の構成

2 高松市の人口の将来推計と分析

- (1) 人口減少段階
- (2) 人口推計シミュレーション
- (3) 高齢者人口比率の長期推計

3 人口の変化が**本市**の将来に与える影響の分析

現行の分析に加え、地域経済等への影響を記載。

✓年少人口、生産年齢人口の減少（労働力不足等）

⇒ 企業の撤退・廃業など、地域経済が縮小するおそれ

⇒ 女性の就労状況の変化に対応した環境整備

✓高齢者人口の増加（核家族化の進行と孤立化等）

⇒ これまで以上に様々な分野での担い手に

⇒ 「ダブルケア」、「8050問題」、災害時の避難における課題 など

4 高松市の人口の将来展望

(1) 市民等の意識・希望

①**市民等アンケート**

②**たかまつ創生総合戦略推進懇談会の意見** **を追加**

(2) 移住者の動向

(3) 目指すべき将来の方向

①現状と課題の整理

②本市の人口減少対策

(4) 本市人口の将来展望

1 「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案のポイント①

4 高松市の人口の将来展望

（1）市民等の意識・希望

（ ）内は前回の結果

		高松のまちに対する 満足度	居住地を選択する時の 重要度
市民 434/1,500 (28.9%)	【上位】	1位（1）自然環境 2位（2）緑の環境 3位（3）買物の利便性	1位（2）買物の利便性 2位（3）災害への備え 3位（1）医療・保健
	【下位】	2 1位（2 2）交通安全対策 2 2位（2 1）余暇活動・レジャー 2 3位（2 3）公共交通機関の利便性	2 1位（2 1）スポーツ活動 2 2位（2 3）芸術文化活動 2 3位（2 2）地域の人々の交流

【子育てしやすい環境に必要なと思うもの】 複数選択

選択肢 ※上位5項目	割合
子どもの人数に応じた経済的な支援	49.8%(42.7%)
保育所などの預け先の施設の充実	43.5%(42.0%)
子育てがしやすい税制や社会保障の実施	42.9%(37.2%)
長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、育児時間の確保	26.3%(26.5%)
育児休暇制度の充実（期間の延長など）	23.3%(30.2%)

- 前回の人口ビジョン策定時の市民等アンケートと比較して、**大きな傾向の変化はない**
- **「自然環境」の満足度が高く、「公共交通機関の利便性」や「交通安全対策」の満足度が低い**など、市民満足度調査や市長との意見交換会における参加者の意見とも傾向は一致
- 子育てしやすい環境として、「経済的な支援」や「税制や社会保障の実施」が増加

1 「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案のポイント①

4 高松市の人口の将来展望

（1）市民等の意識・希望

（ ）内は前回の結果

		高松のまちに対する 満足度	居住地を選択する時の 重要度
転出者 91/500 (18.2%)	【上位】	1位（1）自然環境 2位（3）生活衛生環境 3位（2）緑の環境	1位（2）買物の利便性 2位（1）医療・保健 3位（5）公共交通機関の利便性
	【下位】	2 1位（2 0）余暇活動・レジャー 2 2位（2 2）交通安全対策 2 3位（2 3）公共交通機関の利便性	2 1位（2 2）スポーツ活動 2 2位（2 3）芸術文化活動 2 3位（2 1）地域の人々の交流

【高松市の魅力や誇れるもの】 複数選択

選択肢 ※上位5項目	割合
自然環境	46.7%(47.9%)
買物の利便性	31.1%(31.6%)
緑の環境	26.7%(29.1%)
道路の整備状況	18.9%(30.8%)
芸術文化活動	17.8%(10.3%)

- 前回の人口ビジョン策定時の市民等アンケートと比較して、**大きな傾向の変化は見られなかった**
- **「公共交通機関の利便性」の重要度が上位にあがっている**
- **本市の魅力や誇れるものとして、「自然環境」が最も多く、「芸術文化活動」も増加**

1 「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案のポイント①

4 高松市の人口の将来展望

(1) 市民等の意識・希望

() 内は前回の結果

		高松のまちに対する満足度	居住地を選択する時の重要度
高校生 回答数：862	【上位】	1位 (1) 自然環境 2位 (3) 緑の環境 3位 (2) 生活衛生環境	1位 (1) 災害への備え 2位 (2) 医療・保健 3位 (3) 買物の利便性
	【下位】	2 1位 (2 2) 交通安全対策 2 2位 (2 1) 公共交通機関の利便性 2 3位 (2 3) 余暇活動・レジャー	2 1位 (2 0) まちのにぎわい 2 2位 (1 9) 地域の人々の交流 2 3位 (2 3) 芸術文化活動
大学生 回答数：412	【上位】	1位 (1) 自然環境 2位 (2) 緑の環境 3位 (3) 生活衛生環境	1位 (1) 買物の利便性 2位 (4) 災害への備え 3位 (2) 生活衛生環境
	【下位】	2 1位 (2 3) 余暇活動・レジャー 2 2位 (2 2) 交通安全対策 2 3位 (2 1) 公共交通機関の利便性	2 1位 (1 9) 緑の環境 2 2位 (2 0) スポーツ活動 2 3位 (2 3) 芸術文化活動

【卒業後の居住予定地】 文系・理系の比較は今回から

選択肢	高校生		大学生	
	文系	理系	文系	理系
高松市内	20.6%	28.5%	33.7%	10.6%
高松市以外の県内	5.3%	3.9%	4.8%	5.6%
県外	39.3%	32.1%	27.4%	31.7%

【卒業後の居住予定地の選択理由】 複数選択

- 1位 (1) 自分の生まれ育った地域であるから
- 2位 (3) 希望する就職先の企業があるから
- 3位 (2) 両親（親戚）が住んでいるから
- 3位 (3) 生活するうえで利便性が高いから

■ 若者においても、「**災害への備え**」の重要度が**高くなっている**

■ 「理系」の大学生の卒業後の居住予定地として、「高松市内」が少なく、**理系人材の流出傾向** 6

■ 前回同様、**大学生の居住予定地**の選択理由は、「**自分の生まれ育った地域であるから**」が**最も多い**

1 「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案のポイント①

4 高松市の人口の将来展望

（３）目指すべき将来の方向

市民等アンケート結果からの考察

地域共生社会の推進関係 ⇒ 【テーマ１】

コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり関係 ⇒ 【テーマ２】

スマートシティの推進関係 ⇒ 【テーマ３】を記載

調査項目	結果概要（前回との比較等）	分析 ⇒ 総合戦略に反映
高松のまち	■「地域の人々の交流」や「近所づきあい」の重要度が減少 ■「公共交通機関の利便性」の満足度は減少 ■大学生の「災害への備え」の重要度が増加 ※高校生の重要度も高い	■ 地域のつながりの希薄化 【テーマ１】 ■ 公共交通機関の充実に向けた施策の充実が必要 【テーマ２】 ■ 自然災害の頻発等の影響など、防災・減災への意識の高まりがうかがえる 【テーマ３】
子育て	■ 保育所整備、経済的支援を求める回答が多い ■ 「経済的支援」や「税制や社会保障の実施」が増加	■ 子育てに関する制度の充実 【テーマ１】
大学生の卒業後の居住予定地	■ 居住予定地の選択理由は、「自分の生まれ育った地域であるから」が最も多い ■ 「理系」の学生の卒業後の居住予定地として、「高松市内」の割合が少ない	■ 若者から選ばれるまちを創るために、 ✓ 子どもの頃からのシビックプライドの醸成 ✓ 理系人材の就職先の確保 が必要
転出者から見た高松	■ 前回と比較して、「生活衛生環境」や「医療・保健」、「福祉」の満足度が増加 ■ 「余暇活動・レジャー」は満足度が減少する一方で、居住地を選択する際の重要度は増加 ■ 本市の魅力や誇れるものとして、「自然環境」が最も多く、「芸術文化活動」も増加	■ 他都市と比較して、地域共生社会を推進する土壌がある 【テーマ１】 ■ 近隣自治体との連携による「余暇活動・レジャー」の充実 【テーマ２】 ■ 瀬戸内海など自然を活用した、高松ならではの取組の強化

1 「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案のポイント②

4 高松市の人口の将来展望

（3）目指すべき将来の方向

たかまつ創生総合戦略推進懇談会の意見からの考察

対象	懇談会における意見	分析 ⇒ 総合戦略に反映
全体	■ 魅力的な高等教育機関を充実させることは、地域の産業活性化としても重要 ■ より「高松らしい」取組が必要 ■ 男性の育児休業取得の推奨など、父親の積極的な子育てへの参加促進が必要	■ 大学等の魅力向上への取組を推進するとともに、大学との連携事業による成功事例の情報発信を積極的に行う ■ 転出者アンケートの結果などを分析し、瀬戸内などの自然環境を生かした取組や、地域共生社会の推進などを重点化 ■ 男性も女性も無理なく活躍できる柔軟な就労システムの構築への支援を検討
若者関係	■ 若年層が視野を広げるために（一時的に）転出すること自体は悪いことではない。「若年層の転出抑制」ではなく、「若年層の転入増加」という視点が必要 ■ 医療・福祉分野を含め生活環境の充実を、引き続き図っていくことが重要	■ 将来的にUターンしやすい環境整備として、情報通信関連産業などの若者が魅力を感じる働く場の創出や、地域の特性を生かした産業の育成に取り組む ■ 医療・福祉分野を含めた生活環境の充実のため、高松型地域共生社会を推進

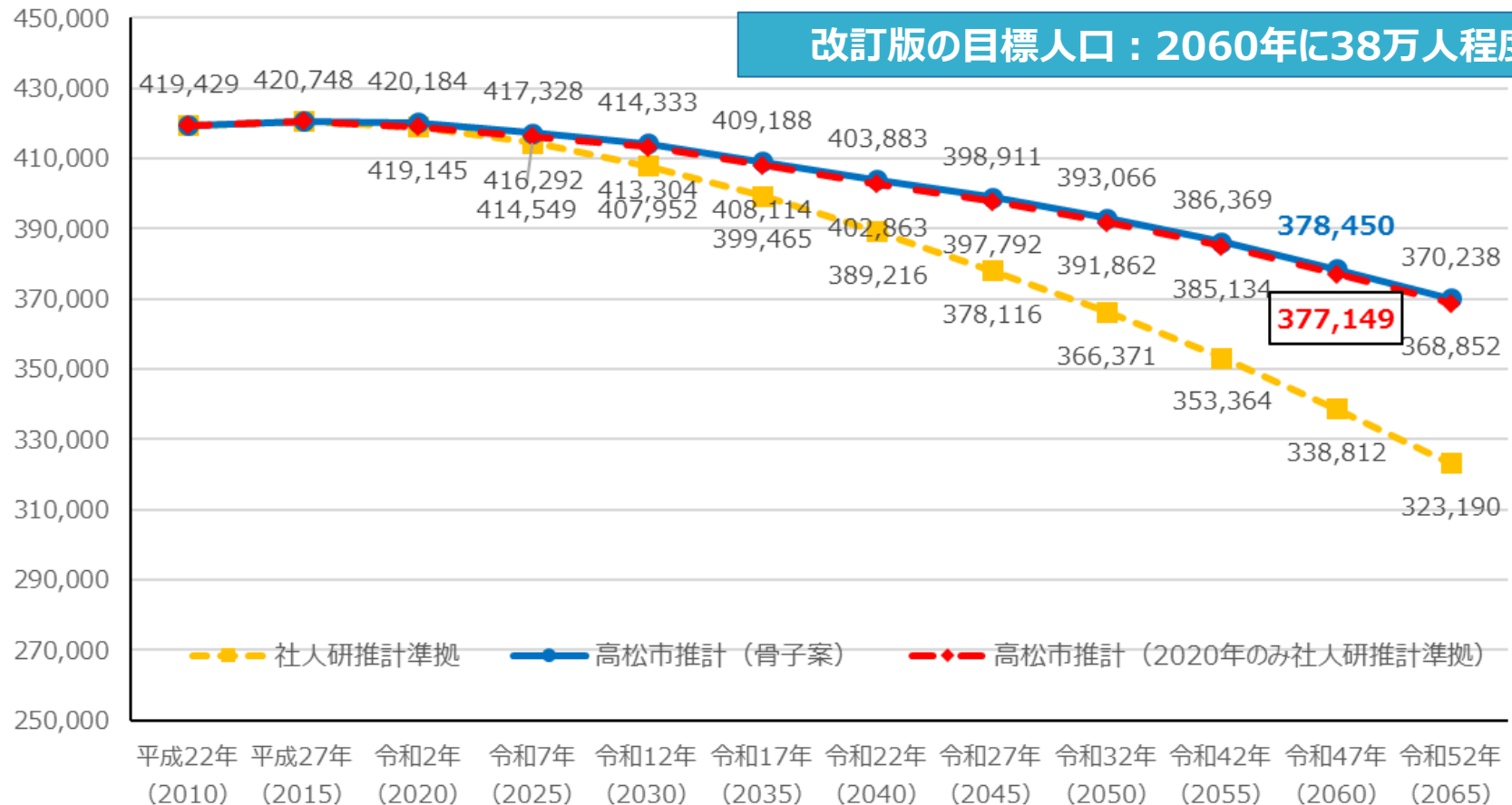
1 「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版（仮称）」素案のポイント③

4 高松市の人口の将来展望 (4) 本市人口の将来展望 (人)

現在の目標人口：2060年に36万人程度

高松市の人口推移と長期的な見通し

改訂版の目標人口：2060年に38万人程度



【仮定】

①東京一極集中に歯止めがかかっていない現状や、最近の人口動態等を踏まえ、
2020年の人口を社人研推計準拠（仮定を追加）とし、

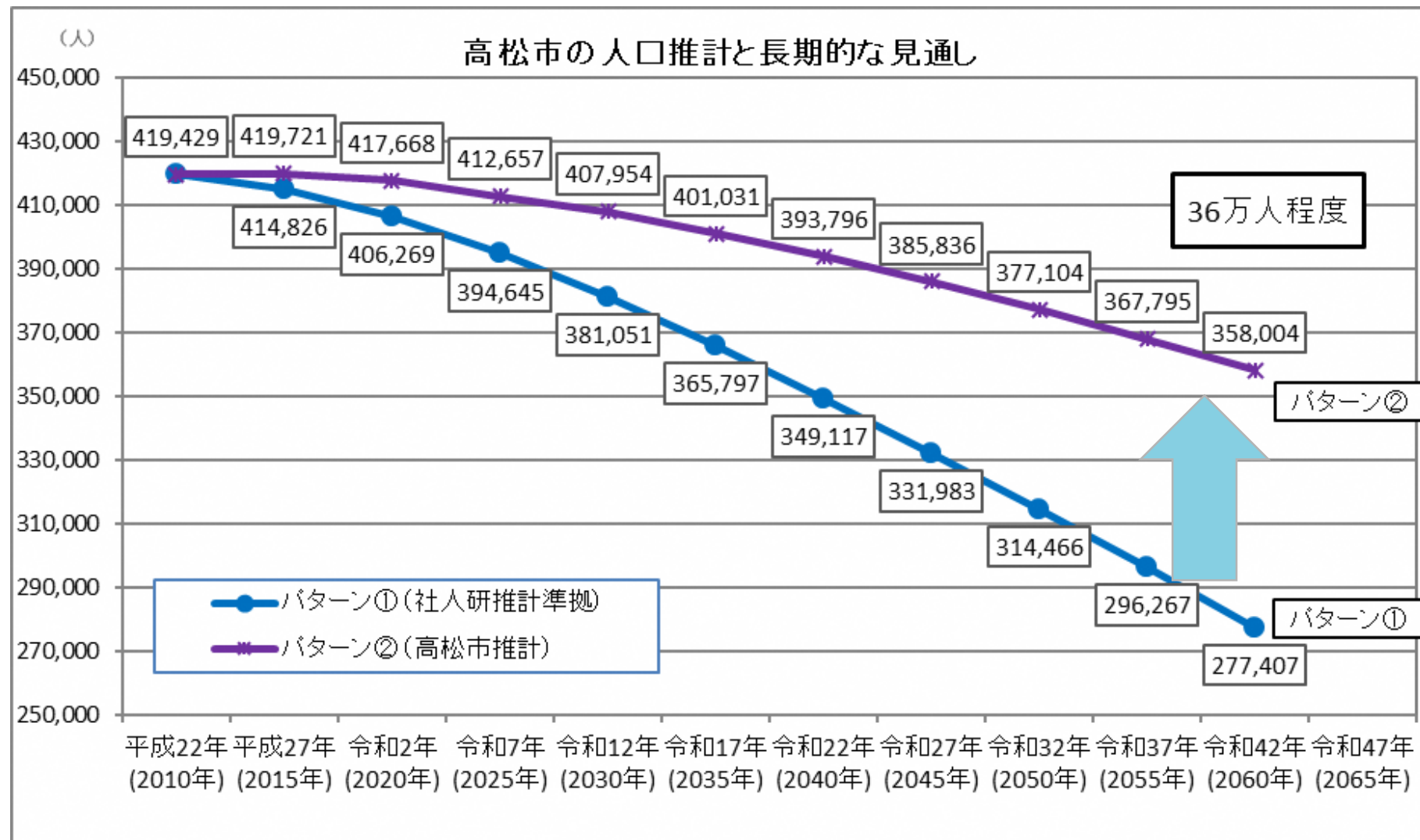
①以降、②出生数の現状を維持する合計特殊出生率（2030年に1.86、2040年に2.07）

③純移動率は、直近値（平成22年と27年の国勢調査人口ベース）に時点修正

④社会増1,000人が未達成の状況 ⇒ 今後の取組により、社会増を「年間1,000人程度」を目指す

【参考】 H27策定時の目標人口：2060年に36万人程度

4 高松市の人口の将来展望 (4) 本市人口の将来展望



はじめに

1 第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）の概要

- (1) 総合戦略の位置付け
- (2) 総合戦略の期間
 - ✓令和2年度から令和6年度までの5年間
- (3) 総合戦略の全体構成
- (4) P D C Aサイクルの確立
- (5) 総合計画との関係
- (6) 総合戦略の考え方

2 国が示す第2期における新たな視点

- ①持続可能な開発目標（SDGs）
- ②情報通信技術などSociety5.0の実現に向けた技術の進展
- ③多文化共生（外国人住民への支援等）

3 本市における地方創生

- (1) 第1期たかまつ創生総合戦略における地方創生の成果と課題
- (2) 第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）において重点的に取り組むテーマ
 - ✓中枢中核都市としての本市の役割を記載
- ①地域共生社会の推進
- ②コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり
- ③スマートシティの推進

(3) 本市の将来的な都市ビジョン

現総合戦略の成果や
課題、本市を取り巻く
社会情勢を反映

4 基本目標と施策の基本的方向

（1）基本目標

①人口減少を抑制する戦略

【基本目標1】創造性豊かで人間中心のまちを創る

■目標：本市の主な観光施設等利用者数〔継続〕

【基本目標2】若者から選ばれるまちを創る

■目標：1年間の転入と転出の差（社会増）〔継続〕

■**目標：20～39歳の人口〔追加〕**

【基本目標3】子どもを産み育てやすいまちを創る

■目標：合計特殊出生率〔継続〕

■**目標：出生数〔追加〕**

②人口減少社会に対応する戦略

【基本目標4】高齢者が健やかで心豊かに暮らせるまちを創る

■目標：自立高齢者率〔継続〕

【基本目標5】持続可能なまちを創る

■目標：用途地域内の人口比率〔継続〕

■**目標：公共交通機関利用率〔追加〕**

（2）施策の基本的方向

5 施策体系と講ずべき施策

（1）施策体系

（2）講ずべき施策

6 参考資料

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント①

1 第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）の概要

「第6次高松市総合計画」と「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」の関係

第6次高松市総合計画

- 【まちづくりの目標】
- 目標1 健やかにいきいきと暮らせるまち
 - 目標2 心豊かで未来を築く人を育むまち
 - 目標3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
 - 目標4 安全で安心して暮らし続けられるまち
 - 目標5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
 - 目標6 市民と行政がともに力を発揮できるまち

人口減少対策に資する事業を体系化

第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）

- 基本目標
- 目標達成に向けた基本的方向
- 政策分野ごとの客観的な指標（K P I）

【人口減少を抑制する戦略】

ひとを呼び込み、地域経済を活性化し、更なる雇用を創出することで、若者から選ばれるとともに、子どもを生み育てやすく、創造性にあふれ、市民が真の豊かさや幸せを実感し、いきいきと暮らせるまちを創る。

【基本目標1】
創造性豊かで
人間中心の
まちを創る

【基本目標2】
若者から
選ばれる
まちを創る

【基本目標3】
子どもを生み
育てやすい
まちを創る

【人口減少社会に対応する戦略】

誰もが健やかに暮らし続けられる、地域コミュニティを軸とした持続可能なまちを創る。

【基本目標4】
高齢者が健やかで
心豊かに暮らせる
まちを創る

【基本目標5】
持続可能な
まちを創る

重点的に取り組むテーマ等

- 地域共生社会の推進
- コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり
- スマートシティの推進
- 「関係人口」の創出・拡大
- 中枢中核都市としての本市の役割
- など

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント②

3 本市における地方創生

（3）本市の将来的な都市ビジョン

- 地域共生社会の推進
- コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり
- スマートシティの推進

重点化

新しい風

- ◎ Society5.0の実現に向けた技術の進展
- ◎ 在留外国人の増加
- ◎ 「関係人口」の創出・拡大

みんながつながる
コンパクトでスマートなまちへの進化

目指すべき
都市像の実現！
「活力にあふれ
創造性豊かな
瀬戸の都・高松」

さらに
その先へ

2060年
目標人口：38万人程度



- ☆ 人口減少の克服
- ☆ 地域活力の向上

連携強化



2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント③

4 基本目標と施策の基本的方向

第2期
(現状値)

基本目標	第1期 当初値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 第1期 目標値	R6 第2期 目標値
基本目標1 創造性豊かで人間中心のまちを創る							
本市の主な観光施設等利用者数 (千人)	6,509	6,654	6,934	6,816	6,595	6,570	7,300
基本目標2 若者から選ばれるまちを創る							
1年間の転入と転出の差（人）	289	695	590	660	198	1,000	1,000
20～39歳の人口（人）	88,058	84,973	82,895	81,534	80,133	-	80,000
基本目標3 子どもを生み育てやすいまちを創る							
合計特殊出生率	1.62	-	-	-	-	1.68	1.68
出生数（人）	3,811	3,724	3,637	3,645	3,350	-	3,400

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント③

4 基本目標と施策の基本的方向

第2期
(現状値)

基本目標	第1期 当初値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 第1期 目標値	R6 第2期 目標値
基本目標4 高齢者が健やかで心豊かに暮らせるまちを創る							
自立高齢者率（%）	78.9	78.9	79.1	79.3	78.8	76.4	78.5
基本目標5 持続可能なまちを創る							
用途地域内の人口比率（%）	64.0	64.0	63.9	63.8	63.7	64.3	64.9
公共交通機関利用率（%） ※	13.8	14.2	14.7	15.0	15.2	15.9	16.6

※「第1期たかまつ創生総合戦略」では、「具体的な施策」のKPIとして設定

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント④

5 施策体系と講ずべき施策

（1）施策体系

【基本目標1】創造性豊かで人間中心のまちを創る



施策の 基本的方向	具体的な施策		主な実施する事業
(1) 地域を支える 産業の振興と 経済の活性化	①	中小企業等の育成と振興	■ 中小企業人材確保・就業機会拡大事業
	②	中央商店街の活性化	■ 中央商店街にぎわい促進事業
	③	企業誘致・交流の推進	■ 企業誘致・起業支援による地域経済活性化促進事業
	④	生産体制の整備	■ 優良農地確保対策事業 ■ 担い手への農地集積促進事業
	⑤	生産の振興	■ たかまつ農業 I C T 導入活用支援事業
	⑥	生鮮食料品等流通の強化	■ 卸売市場活性化推進事業
	⑦	特産品の育成・振興とブランド力の向上	■ 伝統的ものづくり支援事業
(2) 文化芸術の振 興と発信	①	文化芸術活動の推進	■ アート・シティ高松推進事業
	②	国際的な発信力を持つイベントの推進	■ 瀬戸内国際芸術祭推進事業
	③	文化財の保存・活用	■ 文化財保存活用推進事業
(3) 元気を生み出 すスポーツの振 興	①	市民スポーツ活動の推進	■ 障がい者スポーツ推進事業
	②	トップスポーツの振興	■ 地域密着型トップスポーツチーム支援事業
(4) 訪れたい観光・M I C E （マイス）の振 興	①	観光資源の活用と創出	■ 屋島活性化推進事業 ■ 温泉をいかした塩江地域の観光振興事業
	②	観光情報の効果的発信	■ 誘客促進事業
	③	M I C E（マイス）の誘致促進	■ 観光コンベンション振興推進事業

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント④

5 施策体系と講ずべき施策

(1) 施策体系



【基本目標2】若者から選ばれるまちを創る

施策の 基本的方向	具体的な施策		主な実施する事業
(1) 大学等高等教育の充実	①	大学等の魅力向上への取組	■ 大学等連携による地域の魅力発信事業
(2) 就業環境の充実	①	就業支援の推進	■ 就業支援推進事業
(3) 国際・国内交流の推進	①	多文化共生のまちづくり	■ 多文化共生推進事業
(4) 移住・定住の促進	①	選ばれる地域づくりの推進	■ 移住・定住促進事業 ■ 生涯活躍のまちづくり推進事業 ■ 政策コンテスト開催事業

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント④

5 施策体系と講ずべき施策

（1）施策体系

【基本目標3】子どもを生み育てやすいまちを創る



施策の 基本的方向	具体的な施策		主な実施する事業
(1) 子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	①	子どもの心身の健やかな育ちへの支援	■ 妊娠期からの子育て世代包括支援事業 ■ 不妊治療支援事業
	②	健やかな成長を促す学びへの支援	■ 私立保育所・幼稚園等施設整備補助事業 ■ 公立保育所・幼稚園等施設整備事業
	③	配慮を要する子どもと保護者への支援	■ 要保護児童対策事業
	④	地域における子育て支援	■ こども食堂等支援事業
	⑤	子育てと仕事の両立支援	■ 放課後児童クラブ事業 ■ 放課後子ども教室事業 ■ 保育士確保緊急対策事業
(2) 男女共同参画社会の形成	①	男女共同参画の 推進	■ 男女共同参画社会推進事業 ■ 女性の活躍促進事業
(3) 社会を生き抜く力を育む教育の充実	①	確かな学力の育成	■ 英語教育推進事業
	②	豊かな心と体を育てる教育の推進	■ 小中一貫・連携教育推進事業
	③	教員の資質向上と教員指導体制の充実	■ 高松型学校・地域連携システム推進事業
	④	学校教育環境の整備	■ 教育 I C T 整備・活用推進事業
	⑤	家庭及び地域の教育力向上の推進	■ 子どもを中心とした地域交流事業

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント④

5 施策体系と講ずべき施策

（1）施策体系



【基本目標4】高齢者が健やかで心豊かに暮らせるまちを創る

施策の基本的方向	具体的な施策		主な実施する事業
(1) 支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	①	地域共生社会の推進	■ 高松型地域共生社会構築事業
	②	ユニバーサルデザインの普及啓発	■ ユニバーサルデザイン推進事業
	③	地域包括ケアシステムの構築	■ 在宅医療・介護連携推進事業 ■ 生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業 ■ 高齢者見守り事業 ■ 認知症ケア推進事業
	④	障がい者の自立支援と社会参加の促進	■ 手話言語・障がい者コミュニケーション手段の普及促進事業
(2) 健康で元気に暮らせる環境づくり	①	生活習慣病（がん・循環器疾患・糖尿病等）対策の推進	■ がん対策推進事業
	②	救急医療体制の確保	■ 夜間急病診療所運営事業

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント④

5 施策体系と講ずべき施策

（1）施策体系

【基本目標5】持続可能なまちを創る（1／2）



施策の 基本的方向	具体的な施策		主な実施する事業
(1) 安全で安心して暮らせる社会環境の形成	①	救急活動の推進	■ 救急艇等管理事業
	②	防災・減災対策の充実	■ 防災 I o T 利活用事業
(2) 環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	①	ごみの減量と再資源化の推進	■ 食品ロス対策等推進事業
	②	地球温暖化対策の推進	■ 再生可能エネルギー普及促進事業
(3) 豊かな暮らしを支える生活環境の向上	①	空き家対策の推進	■ 空き家等対策事業
	②	公園・緑地の整備	■ 身近な公園整備事業
(4) コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり	①	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	■ 多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業 ■ 豊かな住まいづくり事業
	②	公共交通の利便性の向上	■ 公共交通利用促進事業 ■ 地域公共交通再編事業
	③	自転車の利用環境の向上	■ レンタサイクル事業
	④	中心市街地の活性化	■ 中心市街地活性化推進事業 ■ 高松丸亀町商店街再開発事業 ■ 南部3町商店街における優良建築物等整備事業

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント④

5 施策体系と講ずべき施策

（1）施策体系



【基本目標5】持続可能なまちを創る（2／2）

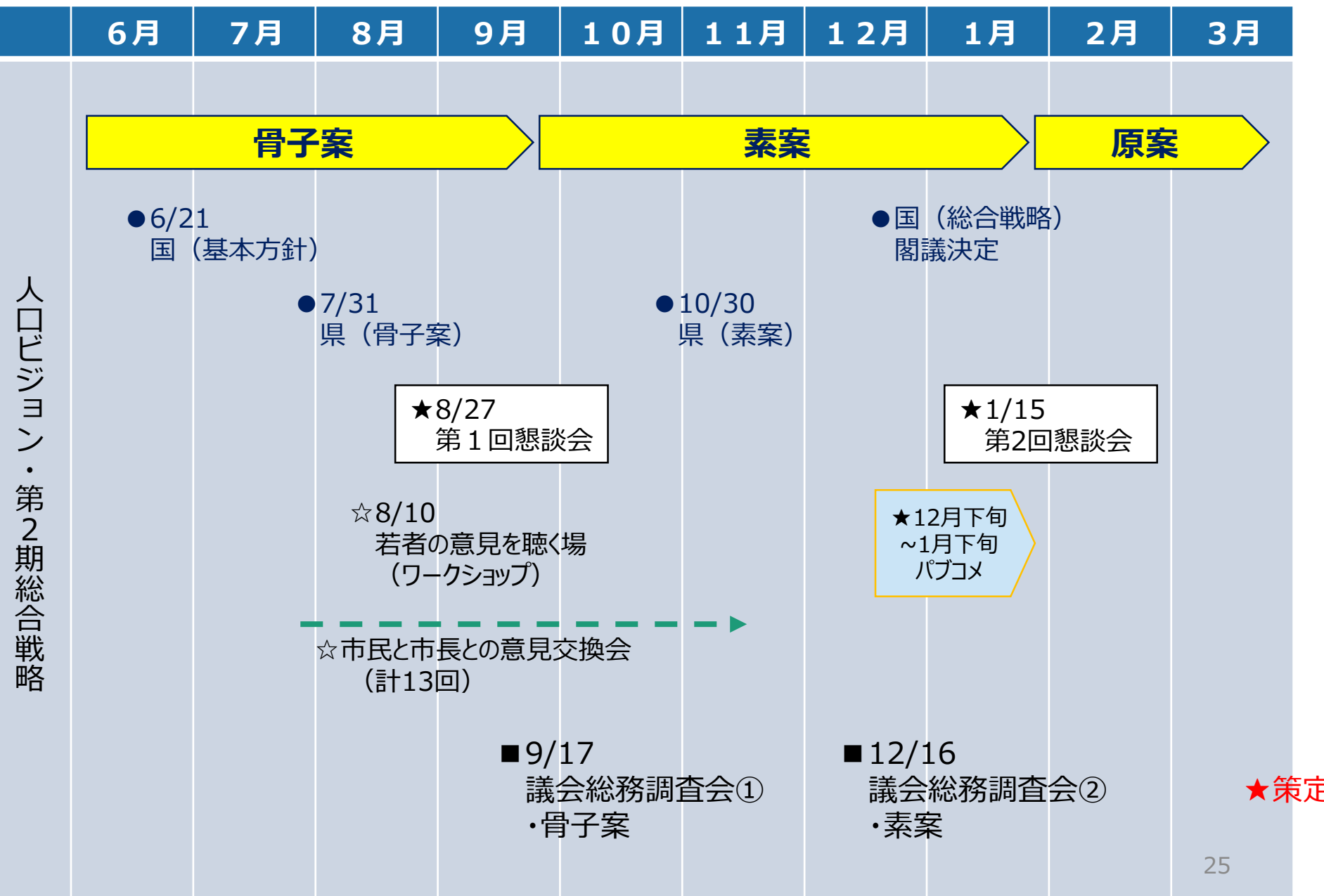
施策の 基本的方向	具体的な施策		主な実施する事業
(5) 拠点性を発揮 できる都市機 能の充実	①	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	■ 広域輸送交通機関整備促進事業
(6) 参画・協働に よるコミュニティ の再生	①	コミュニティ活動の支援	■ 地域まちづくり交付金事業
	②	離島の振興	■ 大島振興方策推進事業
(7) 相互の特長を いかした多様な 連携の推進	①	連携中枢都市圏における連携事業の充実	■ 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業
	②	多様な主体との連携強化	■ 多様な主体との連携推進事業
(8) スマートシティ の推進	①	I C T・データの活用	■ スマートシティたかまつ推進事業 ■ オープンデータ利活用推進事業 ■ A I 等利活用推進事業
(9) 健全で信頼さ れる行財政運 営の確立	①	効率的な行政運営の推進	■ ファシリティマネジメント推進事業 ■ 総合センター整備事業

2 「第2期たかまつ創生総合戦略（仮称）」素案のポイント⑤

たかまつ創生総合戦略推進懇談会の意見

対象	懇談会における意見	分析 ⇒ 総合戦略に反映
全体	■ PDCAサイクルの確立の中で、事業の検証をした後での「ACTION」が必要であり、改善をどのようにしたかの「見える化」を具現化すべき ■ SDGsを関連付ける点について、地域への落とし込みが難しいのではないか	■ 今後も、たかまつ創生総合戦略推進懇談会などにおいて検証を行い、期間中においても、検証結果を踏まえた施策や取組の見直しを行う ■ SDGsを推進する国の動向を掲載するとともに本市の取組とSDGsとの関連性を分かりやすく理解してもらうため、アイコンを表示した
基本目標 1	■ 瀬戸内海の海の幸や、高松港周辺の美しい景観の活用	■ 瀬戸内海など自然を活用した、高松ならではの取組の強化
基本目標 2	■ 持続的に交流人口・関係人口を増加させるか ■ これらの人に依存せずとも、持続可能な基盤づくり（地元の産業育成）のための施策が必要	■ 「関係人口」の創出・拡大に向けた更なる取組 ■ 将来的にUターンしやすい環境整備として、情報通信関連産業などの若者が魅力を感じる働く場の創出や、地域の特性を生かした産業の育成に取り組む
基本目標 5	■ 更なるスマートシティの推進	■ 多様な主体との連携により、それぞれが保有する先進的なICTを活用・連携させることで新たなサービスを創出し、複雑化・高度化する地域課題の解決を目指す

3 今後のスケジュール



人口ビジョン・第2期総合戦略